

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 29 年度)

施設の名称	東大阪市立男女共同参画センター	指定期間	26年度～	30年度
		指定の方法	単体施設を指定管理	
施設所管課	人権文化部男女共同参画課	連絡先	06-4309-3300	
設置目的	男女の性別に捉われないこと、一人ひとりの能力と個性が生かされ、責任をわちあひ、生き生きと暮らす事ができる男女共同参画社会の形成を促進する活動の拠点施設として設置。			
施設内容・業務内容等	ホール・ギャラリー・研修室等の貸館業務、施設管理業務及び事業企画運営業務			
指定管理者	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	連絡先	072-960-9201	
人員体制	正規職員	7	人	パート・アルバイト
				4
				その他
				0
				人

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	308	338	347	347	347
指定管理委託料(千円)	72,105	84,419	88,480	88,480	88,912
利用状況指標	1 例:入館者数(人)	4,941	5,878	6,038	補足説明
	2 例:人口100人当たり市立美術館入館者数(人)	148,623	164,053	167,962	補足説明
	3 例:センターの夜間稼働率(%)				補足説明

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。  
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
<b>A 行政視点</b> 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	指定管理者である一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)において、府内のみならず、内閣府の事業を受託するなど全国規模で男女共同参画を推進している団体であり、本市の方針に沿った運営や、水準を維持した事業が展開できている。また、当該施設においては監視カメラを交換するなど、市民の安全の確保という面において非常に素早く対応している。
<b>B 管理・運営能力</b> 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	人員・予算等の資源の管理については適正に実施されている。財団評議員や役員に弁護士や公認会計士がおり大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)においてこれまで培ってきた管理・運営能力は評価できる。
<b>C サービス</b> 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	人員・予算等の資源の管理については適正に実施されている。財団評議員や役員に弁護士や公認会計士がおり大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)においてこれまで培ってきた管理・運営能力は評価できる。
<b>D 市民視点</b> 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	男女共同参画に関する多彩な事業を展開している。市民サービスにおいても弾力的に対応している。また、接遇についても親しみやすく洗練されており、明るく活発な施設である印象を与えている。特に窓口対応については非常に評価できる。
<b>E 効果・効率性</b> 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	事業の開催日や時間帯については講座のターゲット層を考慮して設定している。本市男女共同参画推進の拠点施設として、登録団体をはじめとするさまざまな団体、個人が利用している。市民の目に留まりやすく親しみやすいパンフレットを発行するなどして若江岩田駅前という立地条件を最大限にアピールしている。
<b>F 法令等遵守</b> 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は大阪府が設立した団体であり弁護士や公認会計士が評議員・役員になっている。法令遵守や社会的責任についての意識は高い。また、また経営理念の中で「社会的・経済的な男女格差の是正」を掲げており社会的な責任を果たしている。
<b>課題への対応 今後の取組</b>	最終評価 (任意設定)  S	既に改善済の項目もあり、概ね仕様書の水準を満たしている。施設の効果を最大限発揮するためにも、イコーラムの認知度向上の取組が必要である。